



平成30年5月10日

各 位

会社名 新田ゼラチン株式会社
代表者名 代表取締役社長 尾形 浩一
(コード番号：4977 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員 玉岡 徹
総務部 担当
電話番号 072(949)5381

特別損失（固定資産減損損失、関係会社株式評価損）の計上、
通期連結業績予想値と実績値との差異
並びに個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成30年3月期において特別損失を計上するとともに、平成30年2月8日に公表いたしました、平成30年3月期通期の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また平成30年3月期の個別業績と前期実績値との間に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上【連結】

連結子会社であるニッタゼラチンユーエスエーInc.のコラーゲンペプチドに関する事業では、持続的成長に向け将来に亘って競争力を確保するための取組みを進めております。

これを踏まえて、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく回収可能性を検討した結果、平成30年3月期において減損損失862百万円を特別損失に計上しました。

同社のコラーゲンペプチドに関する事業におきましては、より一層の収益力の向上に努めてまいります。

2. 特別損失（関係会社株式評価損）の計上【個別】

当社が保有するニッタゼラチンユーエスエーInc.及びレバプロテインズLtd.の株式の実質価額が著しく下落することとなったため、平成30年3月期において関係会社株式評価損2,003百万円を特別損失に計上しました。

なお、当該損失につきましては、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

3. 平成30年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 37,400	百万円 1,100	百万円 1,000	百万円 600	円銭 32.66
当期実績 (B)	37,777	1,095	1,009	△615	△33.50
増減額 (B - A)	377	△4	9	△1,215	—
増減率 (%)	1.0	△0.4	0.9	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	36,575	1,617	1,831	693	37.74

差異の理由

売上高は、国内販売が堅調に推移し、前回予想を上回りました。また利益面は、営業利益、経常利益ともに、前回予想と同水準となりましたが、上記1.の特別損失（減損損失）を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を下回りました。

4. 平成30年3月期通期個別業績の前年実績値との差異（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	22,902	1,229	1,647	663	36.14
当期実績 (B)	23,210	863	1,039	△1,256	△68.37
増減額 (B - A)	308	△366	△608	△1,920	—
増減率 (%)	1.3	△29.8	△36.9	—	—

差異の理由

ゼラチンは、食用、カプセル用、またコラーゲンペプチドはサプリメント市場での販売が堅調に推移したことなどにより、売上が増加し前期実績を上回りました。

一方で、原料価格の高止まりや為替相場の変動による為替差損の発生に加え、上記2.の特別損失（関係会社株式評価損）を計上した結果、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも前期実績を下回りました。

以上